

# プラネアルファ

「あかり」～友と共に灯そう～

2023年7月6日発行 No. 393



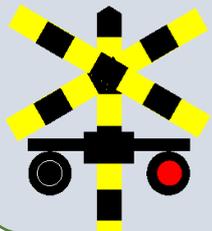
常任委員 芝 翔太  
高知運転所

今回の作成担当

JR四国労組  
LINE公式アカウント

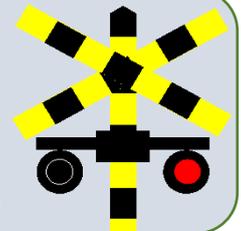


友達募集中



## 踏切ちゃんと渡ってね！

# 鉄道版交通安全教室



2023年6月2日（金）、香川県高松市「瀬戸内保育所」にて『鉄道版交通安全教室』を開催しました。コロナ禍の間は開催できず、実に4年ぶりの開催となった今回は、本部青年女性会議のメンバーが園児26名の前で、踏切の正しい渡り方や列車は急には止まれないことなどを伝えました。

この活動は、青年女性組合員が業務中に遭遇した、子供が線路内に立ち入ったことによる痛ましい事故やヒヤリハットの経験を教訓に「子供が列車にはねられた事故」ではなく、「自分たちの仲間が、跳ねざるを得なかった事故」として捉え、このような痛ましい事故が今後二度と起こらないように、ボランティア活動の一環として青年女性会議が主体となり企画・開催をしています。



4年ぶりの  
開催！！



当日は台風の影響による大雨で開催が心配されましたが、無事に開催することができました。

園児に分かりやすく・楽しく伝えるため、本部青女の役員が保育園児になりきって「線路のそばでは遊ばないの巻」「踏切は正しく渡ろう！の巻」の2部構成で劇を行い、線路や踏切近くで危ない行動をとるとどうなるかを通じて、鉄道に潜む危険性や正しい踏切の渡り方などを伝えました。

劇が始まると園児たちは楽しそうに笑いながら、そして時には真剣な眼差しで見えてくれて、運転士・車掌が登場した際は歓声も上がり、劇をしていた私たちも楽しい雰囲気の中で演じることができました。今回の鉄道版交通安全教室をきっかけに、これまでよりほんの少しでも気を付けて踏切を渡るようになり、鉄道をもっと身近に感じてくれたら嬉しいと感じました。

劇が終わったあとには、園児と一緒に踏切を渡る練習をしました。みんな学んだことをしっかり活かして、踏切を渡るときには「右見て！左見て！もう一度右を見て！」ときちんと確認してから渡ってくれました。

園児からは「踏切の渡り方がよく分かった」「楽しかった」と感想をもらいました。実行委員も大勢の子ども達と触れ合う事で楽しいひと時を過ごすことができ、鉄道で働くものとしての使命感や自分たちの職責の重要性を改めて感じ、とても有意義な活動となりました。



正しく踏切を渡ろう！



瀬戸内保育所の皆さん！  
ありがとうございました！

JR西国労組  
四国旅客鉄道労働組合  
青年女性会議

